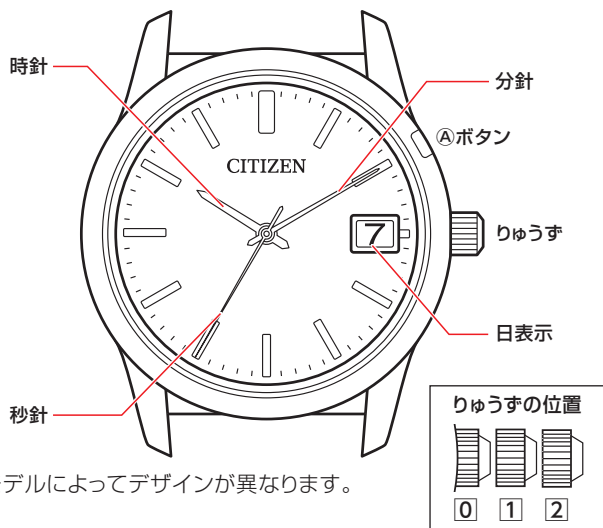


E41* 簡易操作ガイド

・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。

各部の名称



・モデルによってデザインが異なります。

時刻とカレンダーを合わせる

この時計のカレンダーは、うるう年を含む2100年2月28日まで、修正不要です。(パーベチュアルカレンダー)

分と秒を合わせる

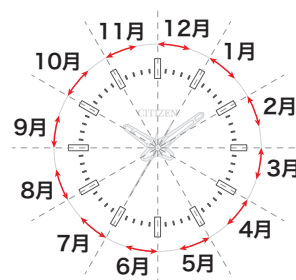
1. りゅうずの位置を②にする
 - ・秒針が、0秒を指します。
2. りゅうずを回して、「分」を合わせる
 - りゅうずを素早く回転させると、分針が連続回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
 - ・分針に連動して時針が動きます。
3. 時報に合わせて、りゅうずの位置を①にする
 - 秒針が動き始めます。

時と日表示を合わせる

1. りゅうずの位置を①にする
2. Aボタンを押す
 - 秒針がデモ運針(正転→逆転→正転)します。
3. りゅうずを回して、日表示を合わせる
 - 時針を連続回転させて日表示を合わせます。
 - りゅうずを素早く回転させると、時針が連続回転します。
 - りゅうずを少し回すと止まります。
 - ・日表示は、午後10時頃から午前3時の間に切り替わります。
 - ・存在しない日(例えば2月30日)に合わせると、操作終了後、翌月の1日に日表示が切り替わります。
4. りゅうずを回して、時針を合わせる
 - ・日表示が切り替わったときが午前0時です。午前午後を間違えないよう注意します。
 - ・修正操作終了後、30秒経過すると修正状態を終了します。

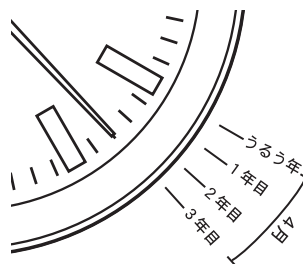
年と月を合わせる

1. りゅうずの位置を①にする
 - 秒針が動き、「年」と「月」を表示します。
2. りゅうずを回して、「月」と「年」を合わせる
 - ・月は、時刻の「時」の範囲で示されます。



- ・年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。
- ・うるう年からの経過年については、サポートの「仕様・機能・購入」から、うるう年経過年早見表をご参照ください。
<http://citizen.jp/cs/guide/index.html>

(例) 2015年4月に合わせるときは
4月→4時の範囲
2015年→うるう年から3年目



- ・りゅうずを素早く回転させると、秒針が連続して動きます。
- りゅうずを少し回すと止まります。

3. りゅうずの位置を①にする
 - 現在の時刻に戻ります。

時差修正を行う

1時間単位での時差修正ができます。

1. りゅうずの位置を①にする
2. Aボタンを押す
 - 秒針がデモ運針(正転→逆転→正転)します。
3. りゅうずを回して、時差を修正する
 - りゅうずを右に回すとプラスの時差修正、左に回すとマイナスの時差修正となります。
 - りゅうずを素早く回転させると、時針が連続回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
 - ・時差を元に戻す場合は、修正した方向と反対方向に時針を回してください。
 - ・充電が不足していると、時差修正はできません。
 - ・修正操作終了後、30秒経過すると修正状態を終了します。

オールリセットと基準位置修正を行う

1. リ्यूズの位置を②にする

時計が記憶している0位置に秒針が移動し停止します。

2. ④ボタンを1秒間以上押して離す

秒針と時針が、デモ運針(正転→逆転→正転)を行い、オールリセットが完了します。

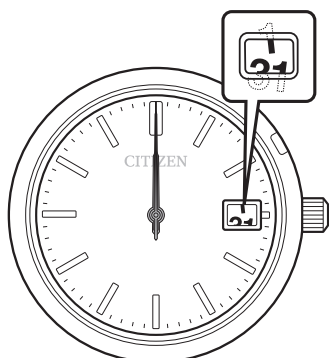
3. リ्यूズを回して、秒針と分針を12時位置に合わせる

・リ्यूズを素早く回転させると、秒針と分針が連続回転します。
リ्यूズを少し回すと止まります。

4. リ्यूズの位置を①にする

5. リ्यूズを回して、日表示と時針を合わせる

正しい基準位置：
すべての針が12時位置
日表示が「31と1の間」



6. リ्यूズの位置を③にする

約1秒後に基準位置が記憶されます。

秒針が変則2秒運針を始めるので、「時刻とカレンダーを合わせる」を参照して、時刻・日表示を正しく合わせてください。